

特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター

2018年度 事業報告

<b>事業名</b>	サブリ村野受付事業		<b>事業担当</b>	受付職員								
<b>事業目的・趣旨</b>	枚方市公共スポーツ施設及び文化施設の運営管理											
<b>本年度テーマ</b>	1. 利用者に対する安全配慮の取り組み：無事故日数の継続 2. 両施設の利用率向上 サブリ村野「樹木札」設置（枚方生き物調査会との協働）→ 担当職員休職につき実施せず 3. 受付専任管理者体制の定着											
<b>重点取り組み</b>	<b>上期</b>	<b>目標</b>	<b>下期</b>	<b>目標</b>								
①日々運営管理	・毎月の運営管理	事故件数0	・毎月の運営管理	事故件数0								
②利用向上	・利用状況分析、所管部署との調整 ・17年度実績分析	毎月の集計及び スポーツ80%台維持	・改善策の試行 ・2018年度上半期分析	年間利用率 NPO5%アップ								
③管理業務効率化	・専任管理者体制の定着		→専任管理者体制の定着									
2018年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日々管理/利用者対応	→											→
月切り集計	→											→
受付職員面談（研修）			○	FB				AED講習				○・FB

FB：フィードバック

〔成果〕・NPOセンター 年間利用率43.9%（6.1%増）、年間利用件数3,774件（117件増）  
 ・スポーツセンター 年間利用率85.1%（0.7%増）、年間利用件数7,127件（352件増）  
 両施設とも微増ではあるが、利用率は伸びている。

〔課題〕・仕様書の見直しを行い、来年度より損害賠償保険に加入することになりました。  
 ・専任管理者が定着しないため、ネットワークルームとの一括管理に変更。

事業名	情報事業		事業担当	渡邊、重村、西川、増田								
事業目的・趣旨	1. ホームページの管理運営 2. 人材バンク(WE Bページ等)の運営 3. 情報紙(「ひらせんナビ」、広報紙「ひらんぼ」)等の発行 4. 情報収集と発信											
本年度テーマ	1. NPO、市民活動に関する広報についての新たな開拓 2. WE Bページなど、最新の情報を提供するための体制と、データ更新のマニュアル化											
重点取り組み	上期	目標	下期	目標								
①有効な情報発信の開拓	・より有効な情報発信についての調査	・より利用されるメディアを確認	・より利用されるメディアの開拓	・次年度以降の広報の方向性の確認								
②情報更新のマニュアル化	・より早い情報更新のための各々のデータの共有と体制づくり	・センター内の情報の見える化	・更新状況の確認と見直し	・より効率的な方法を確認								
2018年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ホームページ	随時更新											
	Facebook、Twitter 随時更新、2月から Instagram 開設											
人材バンク	ボランティアだより(毎月配信)※メール・FAX・郵送											
	講座・研修特になし											
広報紙「ひらんぼ」(季刊)			発行				発行			発行		
情報紙「ひらせんナビ」(月刊)	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行
その他の情報発信											インスタ	インスタ

〔成果〕・ひらせんナビの発行とWEBページへのアップ、イベントカレンダーの更新は、随時できるようになった。

- ・学生インターンの取り組みで Instagram を開設し、一度に、FB や TW の発信ができ、今までより反応が早くなった。今後は、それぞれの役割を確認して、効率よく発信できるようにしていきたい。

〔課題〕・広報紙および情報紙の掲載内容や方向性について、マンネリ化を感じる部分もあるので、見直す必要がある。

- ・ホームページ、SNS など、一人で発信していると遅いので、役割分担をして、複数のスタッフで発信していったほうがよい。
- ・登録団体ガイドブック、ひらせんデータバンクが、今年度更新できなかったもので、次年度は早々に整理して更新したい。
- ・情報だけでなく、全体的にスタッフ不足を感じるなので、別途事業として、ボランティア、運営委員などの人材発掘と育成に取り組むべき。

<b>事業名</b>	学びの広場事業						<b>事業担当</b>	西川・中村								
<b>事業目的・趣旨</b>	NPO 活動を担う様々な人材（市民、市民活動団体、ボランティア、当センター職員など）の育成。															
<b>本年度テーマ</b>	伴走型支援に対応できる人材の育成・他中間支援との人材交流・情報交換															
<b>重点取り組み</b>	<b>上期</b>				<b>目標</b>				<b>下期</b>				<b>目標</b>			
マネジメント講座	市民活動を始める市民等を対象に「NPO を学ぶ講座」を開催。				計 1 講座、受講者 20 人。				「NPO を学ぶ講座」のほか、市民活動団体向けの各種マネジメント講座を開催。				計 5 講座、受講者 70 人。			
2018 年度計画																
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
マネジメント講座 講座名 受講人数	NPO を学ぶ講座 4人						NPO を学ぶ講座 4人	ファントレイ ジング講座 基礎編 16人	ファントレイ ジング講座 実践編 14人	ファントレイ ジング相談会 6人	紙面づくり講座 46人					
初任者研修				○												
伴走型コンサルタント研修		受講					体験	→								
「休眠預金勉強会」			→													

〔成果〕

＜マネジメント講座＞年間実施講座数は計 8 講座、受講者数計は 139 人。講座数は目標を達成したが、受講者数は目標の 57%に留まった。

＜伴走型コンサルタント研修＞研修と同時に、枚方でも伴走支援を行った結果、NPO と行政の協働モデル事業（プレーパーク）を軌道に乗せることができた。

〔課題〕

＜マネジメント講座＞受講者数をどう増やしていくかが課題。

＜休眠預金＞受け皿団体が商工会議所系の財団に決定し、NPO へのお金の流れがなくなると予想される。



事業名	防災災害支援事業					事業担当	渡邊、松元、重村					
事業目的・趣旨	防災に関する調査研究と成果の発信を行う。 防災に関する事業の企画・実施及び実施に伴う関係機関との連絡調整を行う。 東日本大震災の被災地などに対し、継続的な支援を行う。											
本年度テーマ	1. 防災・啓発活動に積極的に参加できる次世代を育成する。 2. 市の担当課との交流、情報交換を通じて、災害時におけるひらかた市民活動支援センターとしての体制・活動方針を考える。											
重点取り組み	上期			目標			下期			目標		
①次世代への防災啓発活動	・小・中学生向け防災学校(防災講座)の実施			・団体と共に取り組めるように調整する			・小・中学生向けの防災体験プログラムの実施			・枚方の防災、まちづくりの新しい提案づくり		
②交流会の定例化	・防災に関して、NPO、市の担当課との交流会の実施			・交流会のテーマを調整する			・防災に関して、NPO、市の担当課と交流会の実施			・次年度のスケジュールを調整する		
③災害時における「ひらせん」の体制と活動方針	・枚方市の災害時における「ひらせん」としての体制の確認			・法人としての方針を確認			・災害時における「ひらせん」の活動方針			・法人としての方向性を確認		
2018年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防災小学校 校区・自治会の防災訓練等	桜丘北校区	さだ小 牧野校区				津田南小 楠葉南校区 「松徳会」 さだ東校区		川越校区 小倉校区			樟葉北小 平野校区 津田校区	明倫校区 桜丘北校区
防災学校・講座 (ひらせん主催)				みんなの防災 7/15、22 ママたちの防災 7/13		みんなの防災 9/22					ひらかた 防災学校 2/2	
自主研修・交流会												
被災地の調査と研究												
被災地支援(物産販売)		とっておきの 音楽祭 5/20				NPO フェスタ 9/9				とんど祭り 1/13		
ミーティング等	えんともミーティング(毎月第1(金)18:30~): 4/6,5/8,6/1,7/6,8/3,9/4,9/26,10/19,10/26,11/2,11/30,12/14,1/4,1/26,3/1 防災小学校企画委員会(毎月第2(金)18:30~): 6/15,10/12,11/9,12/14,1/18,2/15											

〔成果〕本年度は、度重なる災害で、講座の参加者や、地域からの防災訓練の要望も、実際の災害体験に対する質問や、防災プログラムの要望が多かった。新たに地域包括支援センターなど、高齢者向けの防災セミナーの依頼もあり、小学生から高齢者まで、世代に合わせたプログラムの対応ができた。交流会を開催できなかったが、ひらかた防災学校内でのディスカッションで、災害時の各部署の対応など、少し知ることができた。

〔課題〕災害時の当法人としての動きについて話が進められていないことが課題。枚方市や社協などと、どのような連携をもてるのか、また登録団体等のNPOが、災害時に、避難所等で、どのような活動できるかを整理する必要あり。サブリ村野の避難所対応についても、早急に確認していく必要がある。

<b>事業名</b>	市民活動への若者参画推進事業		<b>事業担当</b>	松元・中野								
<b>事業目的・趣旨</b>	中学生・高校生・大学生の市民活動に対する関心を喚起し、市民活動の担い手の育成を図る											
<b>本年度テーマ</b>	①中学生によるディスカッションの開催 ②「中学生を支える側」のスタッフの関わり方を検討する											
<b>重点取組み</b>	<b>上期</b>			<b>目標</b>			<b>下期</b>			<b>目標</b>		
業務の定着化	ディスカッションの実施要項を作成する			同左			ディスカッションの実施(2回) 12/8(土)、2/2(土)			延べ参加校数：15校 延べ参加者数：100人		
ファシリテーターの育成							募集及び研修の実施			ファシリテーター：15人 研修実施：2回以上		
<b>2018年度計画</b>												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中学生を対象としてディスカッション等の企画・実施	内容の検討及び実施要項の作成								12/8		2/2	
ファシリテーター研修								11/18		1/27		
スタッフ会議の開催	実施	実施	実施		実施	実施	実施	実施		実施	実施	実施

【成果】・実施要項の作成など、事業実施に向けた準備を実施した。また、ファシリテーターによるスタッフ会議を設置し、企画段階から携わる体制づくりを行い、ファシリテーターの募集及び研修会を実施し、5名の新規ファシリテーターがディスカッションに参加した。

- ・第1回中学生ディスカッション(12/8) [参加数]11校50人[アンケート(回答数50)] 参加して「とてもよかった」「よかった」の回答が100%
- ・第2回中学生ディスカッション(2/2) [参加数]7校34人[アンケート(回答数34)] 参加して「とてもよかった」「よかった」の回答が100%
- ・[延べ参加校]目標15校実績18校 [延べ参加者数]目標100人実績84人 [ファシリテーター人員]目標15人実績16人[研修回数]目標2回実施2回と、概ね目標達成した。
- ・読売新聞及びマイライフに記事掲載がされた。

【次年度に向けて】中学生ディスカッションの実施にあたっては、学校側の協力と負担の軽減が不可欠となっている。本事業への参加をよりしやすい方法を検討していく。

<b>事業名</b>	相談・ネットワークルーム管理事業		<b>事業担当</b>	職員								
<b>事業目的・趣旨</b>	NPOに関する総合情報センターとしての市民活動ネットワークルームを管理運営する。											
<b>本年度テーマ</b>	認定NPO・条例指定NPOに関する対応を強化していく。 → 希望団体の掘り起こしはできなかった。											
<b>重点取り組み</b>	<b>上期</b>			<b>目標</b>			<b>下期</b>			<b>目標</b>		
相談対応から伴走型支援へ				事業化 1件						法人化 1件		
2018年度計画												
<b>項目</b>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談対応	随時											→
ネットワークルーム管理	—											→
運営委員会(月1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

相談の内訳

登録団体	56%
未登録団体	3%
個人	15%
行政	6%
企業	5%
学校	0%
その他	15%

内容	率
団体・ボラ紹介	24%
問合せ	18%
組織運営	13%
NPOについて	13%
法人格取得	6%
その他	26%

〔成果〕・支援学校と企業をコーディネートした結果、一人ではあるが就業につながった。

〔課題〕・相談内容の公開を更新できていないので、来年度検討する。



事業名	フェスタ事業					事業担当	渡邊、中野					
事業目的・趣旨	イベントの主催及び実践による市民へのNPO活動の啓蒙と周知を図る。 実行委員会を運営することで登録団体の協働力を高める。											
本年度テーマ	1. 「ひらかた NPO フェスタ」の趣旨目的を再認識し、市民が集うイベントを行う。 2. 集客するための事前PRの強化と、当日来場者が楽しめるような工夫を各エリアごとに考えてもらう。 3. 「リユース食器」の使用する意義を再認識し、ごみの出ないイベントづくりを目指す。											
重点取り組み	上期				目標(基準)		下期			目標(基準)		
①市民への開催周知	・事前周知の広報強化				新たな広報手法		・フェスタ実施内容の集計			来場者数 5,000 人		
②参加団体数の勧誘	・実行委員会の活性化				登録団体参加 50 団体		・実行委員会の成果判断			報告書による評価		
③事務局業務	・目玉企画の立案と推進				センター企画実施		・センター企画を評価(手段の確立)					
2018年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひらかた NPO フェスタ						9/9						
実行委員会の開催	○	○	○	○	○	○	報告					○
事務局の運営	→											
19年度推進						会場と日程仮決め			素案検討	企画立案	説明会実施	実行委員会

〔成果〕・9/9に実施完了。来場者数 3500 人。出展団体数 54 団体（当日雨天等の理由で 50 団体）。

- ・当日午前中までの災害や警報もあり、混乱する場面もあったが、前日準備、当日開催共に、事故や救護者もなく無事に終えることができた。
- ・「オリジナル万国旗」の企画は、事前講座も含めて、多くの方に参加・制作してもらえ、当日も会場を華やかに飾ることができた。
- ・風船とバルーンアートのプレゼント企画は、ボランティアが担当したが、クオリティも高く、お子様連れの来場者に大変喜ばれた。
- ・事前募集の講座は、悪天候にも関わらず賑わっていて、集客に効果的であった。

〔課題〕・今年度は、地震や台風、前日の大雨警報等の影響で取りやめになった企画や、キャンセルの団体も複数あった。次年度の開催日は今年と同じ9月第2日曜日に決定したので、台風の影響や雨対策等も視野に入れた会場レイアウト等、事前準備の必要がある。

- ・参加する団体には、施設使用に関する注意点を事前に明確に知らせておく。

<b>事業名</b>	サプリ村野学校事業		<b>事業担当</b>	西川								
<b>事業目的・趣旨</b>	サプリ村野NPOセンターにて講座を行う団体を募集。講座会場として一時利用室を無料で提供し、初心者向けの講座を数回行ってもらい、団体の会員増と活動の活性化を図る。これを継続することで、中期的にサプリ村野NPOセンターの利用率向上に繋げることを目的とする。											
<b>本年度テーマ</b>	当事業の3年目となる本年度は、事業を進めながら、仕組みや体制のブラッシュアップを目指す。											
<b>重点取り組み</b>	<b>上期</b>			<b>目標</b>			<b>下期</b>			<b>目標</b>		
仕組みの構築	募集要項の作成など。						実施団体や受講者の意見を聞きながら、募集要項の見直し。					
講座の実施	募集要項を公開し、講座実施団体を募集。			月に1団体以上が講座を実施。			引き続き講座実施団体を募集。実施団体の意見や受講者のニーズを分析し、来年度の事業作りに活かす。			月に1団体以上が講座を実施。		
2018年度計画												
<b>項目</b>	<b>4月</b>	<b>5月</b>	<b>6月</b>	<b>7月</b>	<b>8月</b>	<b>9月</b>	<b>10月</b>	<b>11月</b>	<b>12月</b>	<b>1月</b>	<b>2月</b>	<b>3月</b>
仕組みづくり	実施方法と募集要項の検討・決定											
仕組み改善												
講座実施団体募集	開始											
講座実施	6講座 37人	3講座 35人	0講座 0人	10講座 110人	5講座 72人	7講座 46人	4講座 35人	8講座 90人	8講座 80人	3講座 6人	4講座 90人	3講座 36人

〔成果〕・計61講座、受講人数は計637人。

〔課題〕・効果測定が難しいため、来年度講座実施団体に対し、講座実施後のサプリ村野NPOセンター利用人数・利用回数の増減を調査していく。

<b>事業名</b>	枚方市立留守家庭児童会室市民参画事業		<b>事業担当</b>	津熊、中村								
<b>事業目的・趣旨</b>	留守家庭児童会室の児童を対象に行事を実施するにあたり、子育てに関心を持つ地域の人材に参画を求めることにより、地域の子育て力を向上させることを目的とする。 市民が関わってもらいやすい留守家庭児童会室の行事の企画・運営を行う事業として実施する。 ひらかた市民活動支援センター登録団体がイベントを企画・実施し、団体のPRとともに、活動の幅を広げる一助とする。											
<b>本年度テーマ</b>	1. 新しい参加団体の開拓 2. 参加団体が他の団体のプログラムを知る機会の提供											
<b>重点取り組み</b>	<b>上期</b>	<b>目標</b>	<b>下期</b>	<b>目標</b>								
①実施団体内の情報共有	・説明会等で注意喚起	・代表等以下メンバー全員に、注意事項がいきわたるようにする。			/							
②当センターボランティアスタッフの情報共有	・スタッフ説明会の開催	・活動内容など、全員で共有できる場をつくる。										
③実施団体の増加	・エントリー団体一覧のわかりやすい提案	・エントリーした全団体が、1箇所でも実施できるように配慮する。										
④反省会の実施	・実施終了後、報告反省会を開催(団体、スタッフ)	・次年度への改善のため、意見・感想を共有できる場をつくる。										
2018年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加団体		募集説明会	実施決定	実施 7/21～8/25		反省会						
市の担当課、児童会室	打合せ		児童会室希望集約									
当センター	打合せ		ボランティア募集	実施見守り確認 7/21～8/25		反省会						

事業名	自主事業				事業担当	運営委員・職員						
事業目的・趣旨	センターが目指すべきミッションの達成に必要な事業。および自主財源の確保に必要な事業。											
本年度テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献 NPO サポートファンド事業</li> <li>・フェスティバル協議会 → 枚方まつりの副実施委員長辞退 →2019年度の関わり方を検討</li> <li>・若者引きこもりネットワークへの参画</li> <li>・中間支援ネットワークへの参画（関西支援センターネットワーク・北摂支援センターネットワーク）</li> <li>・エコポイント寄付の受け入れ</li> </ul>											
重点取り組み	上期				目標	下期				目標		
地域貢献 NPO サポート ファンド事業	今年度、助成・補助事業を実施するか否かの検討				今年度は実施なし	若者引きこもりネットワーク参画の今後を検討						
2018年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域貢献 NPO サポート ファンド事業実施の検討				→								
フェスティバル協議会 (枚方まつり)												
コミュニティ備品管理	→											
講師派遣												
若者引きこもりネットワーク	→											
中間支援ネットワーク参加						KNN			KNN			北摂
エコポイント寄付						フェスタ					防災学校	文房具
法人管理（理事会・総会）		理事会 総会 理事会						理事会				理事会



# 第17期貸借対照表

平成31年3月31日現在  
 特定非営利活動法人  
 ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金預金	18,764,880	未払金	2,605,589
貯蔵品	182,361	前受金	228,000
未収入金	5,208,270	預り金	17,419
前払金	1,710	仮受金	168,600
仮払金	6,918	未払法人税等	240,500
		未払消費税等	691,600
流動資産合計	24,164,139	流動負債合計	3,951,708
2 固定資産		III 正味財産の部	
什器備品	295,204	前期繰越正味財産	19,361,106
		当期正味財産増加額	1,146,529
		正味財産合計	20,507,635
固定資産合計	295,204		
資産合計	24,459,343	負債及び正味財産合計	24,459,343

# 第17期 活動計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

特定非営利活動法人

ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科目	予算額 ①	決算額 ②	差異 ②-①	備考
<b>I 経常収益</b>				
1 受取会費	400,000	391,500	-8,500	
2 受取寄附金	50,000	103,000	53,000	
3 事業収益				
受託金事業収益	32,311,000	32,311,000	0	
事業収益	200,000	1,873,304	1,673,304	防災・講座・機器利用料
販売収益	180,000	129,220	-50,780	防災
4 補助金収益				
枚方市補助金収益	1,738,000	1,738,000	0	フェスタ
5 助成金収益		0	0	
6 その他収益				
受取利息	300	360	60	枚方信用金庫他
雑収入	0	0	0	
経常収益計	34,879,300	36,546,384	1,667,084	
<b>II 経常費用</b>				
1 事業費				
(1) 人件費				
給料手当及び賞与手当	23,836,700	24,197,787	361,087	
法定福利費	1,900,000	2,036,483	136,483	
福利厚生費	252,000	296,949	44,949	中退共他
人件費計	25,988,700	26,531,219	542,519	
(2) その他経費				
仕入高	180,000	112,998	-67,002	
広報費	72,000	18,264	-53,736	
旅費交通費	416,600	385,889	-30,711	
通信運搬費	240,000	219,481	-20,519	
消耗品費	919,000	724,936	-194,064	
事務用品費	260,000	74,044	-185,956	
賃借料	421,000	402,759	-18,241	
修繕費	20,000	32,400	12,400	
保険料	63,000	65,754	2,754	
支払手数料	9,000	3,240	-5,760	
図書費	20,000	24,807	4,807	
会議費	140,000	147,662	7,662	
外注費	1,812,000	2,570,581	758,581	留守家庭他
寄付金	0	30,000	30,000	
その他経費計	4,572,600	4,812,815	240,215	
事業費計	30,561,300	31,344,034	782,734	
2 管理費				
(1) 人件費				
給料手当及び賞与手当	1,460,000	1,260,000	-200,000	
福利厚生費	28,000	0	-28,000	
人件費計	1,488,000	1,260,000	-228,000	
(2) その他経費				
旅費交通費	13,000	6,840	-6,160	
通信運搬費	60,000	37,921	-22,079	
租税公課	45,000	80,400	35,400	
消耗品費	50,000	63,375	13,375	
賃借料	260,000	259,480	-520	301号室及び会議室含む
支払手数料	1,000	1,160	160	
減価償却費	80,000	88,560	8,560	
会議費	41,000	24,400	-16,600	
慶弔費	20,000	52,140	32,140	
外注費	0	0	0	
雑費	560,000	565,731	5,731	
法人税等	300,000	240,500	-59,500	法人税等
消費税等	1,400,000	1,332,300	-67,700	消費税等
ふれあいファンド	299,000		-299,000	
社会企業家	121,000		-121,000	
ポイント寄付	40,000	43,014	3,014	
その他経費計	3,290,000	2,795,821	-494,179	
管理費計	4,778,000	4,055,821	-722,179	
経常費用計	35,339,300	35,399,855	60,555	
当期正味財産増減額	-460,000	1,146,529	1,606,529	
前期繰越正味財産額	19,361,106	19,361,106	0	
次期繰越正味財産額	18,901,106	20,507,635	1,606,529	

# 財務諸表の注記

- 1 重要な会計方針
  - (1) 財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。
  - (2) 固定資産
    - ① 計上基準  
30万円以上で1年以上使用見込みのものを固定資産に計上しています。
    - ② 減価償却の方法  
定額法により減価償却を実施しています。
  - (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。
- 2 減価償却累計額 1,591,094円
- 3 保証債務、担保提供資産はありません。



# 第17期 財産目録

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人

ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要		金額
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金預金		
	現金手許有高	334,240
	普通預金枚方信用金庫本店営業部	11,839,687
	普通預金枚方信用金庫星ヶ丘支店	115,399
	普通貯金星ヶ丘郵便局	126,487
	郵便振替	1,230,988
	普通預金枚方信用金庫本店営業部 (エコポイント用)	986,254
	普通預金枚方信用金庫本店営業部 (ふれあいファンド用)	573,278
	普通預金枚方信用金庫本店営業部 (社会企業家用)	533,316
	定期預金枚方信用金庫本店営業部	3,025,231
未収入金		
	NPOサポート事業	3,483,000
	サプリ村野受付業務	1,447,750
	JOINネイチャースクール プレパーク活動費	18,320
	株URコミュニティ プレパーク諸経費分	259,200
貯蔵品		
	日中貿易 マスコット 683個	182,361
前払金		
	2019年度フェスタ 消耗品購入	1,710
仮払金		
	切手買置き分	6,918
流動資産合計		24,164,139
2 固定資産		
什器備品		
	折紙機 デュプロフォルダー	295,200
	カラーロール印刷機	1
	デスクトップパソコン	1
	ムラノ 紙折機	1
	きぐるみ	1
固定資産合計		295,204
資産合計		24,459,343
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
未払金		
	3月分人件費	1,932,198
	3月分社会保険料	127,820
	3月分経費	545,571
未払消費税等		
	確定消費税	691,600
未払法人税等		
	確定法人税等	240,500
預り金		
	源泉所得税	16,123
	全労災 スポット共済保険料	1,296
前受金		
	第18期会費収益	223,000
	2019年度フェスタ協賛金	5,000
仮受金		
	市民活動課 窓口還付用	38,600
	スポーツ振興課 窓口還付用	130,000
流動負債合計		3,951,708
負債合計		3,951,708
正味財産		20,507,635